

# 団体名 国立大学法人 静岡大学 (所在地：静岡県静岡市駿河区大谷836)

## 事業名

Base・Visit・Satelite 型による生涯学習の開催による参加の機会の拡大と「深い」学びの実現

### 事業の趣旨・目的

- ①就学期の生徒が「学校外」での学びや異年齢の人たちとの学びを経験することで、生涯学習への関心や意欲を高め、将来的な参加を促進することができる
- ②オンデマンドラーニングを活用した学びを経験することで、多様な学び方の一つとして熟達化することができる
- ③高校生・大学生の学びのパートナー（ボランティア）を育成することで、互恵関係的な学びを可能にし、将来的なパートナーと成り得る人材を育成する

### 事業実施体制・連携先

- ◎企画・運営・運営協議会の実施・教材開発・調査研究  
静岡大学教育学部山元研究室 yamamoto.kaoru@shizuoka.ac.jp  
静岡県障害者就労研究会 Shizuoka.dws@gmail.com
- ◎学びのパートナー育成  
静岡大学教育学部山元研究室・本事業に関わるコーディネーター
- ◎協力者 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、特例子会社連絡協議会

### 事業内容

#### 1. 大学で学ぼう (知的障害者を対象とした生涯学習の実施)

(1) 大学で学ぼう実施形態 (図1参照)

- ①Base型：これまで静岡大学で開催してきた「大学で学ぼう」を継承して開催
- ②Visit型：中学校、特別支援学校、特例子会社に訪問して生涯学習を実施する (訪問して開催)
- ③Satelite型：各場所で学んでいた参加者が一か所に集合して発展的な学びを経験する (多様な参加者を募集)

(2) 学び方の工夫 ※その他の昨年度の実施の状況を参照

- ①プレ動画の配信 + 対面授業 + 振り返り動画配信 (図2参照)
- ②グループ活動の工夫 (参加者と学びのサポーターの協働的な学びの実現)

#### 2. 学びのサポーター (ボランティア) の育成

大学で学ぼうにおいて、参加者同士が互恵関係の中で学ぶことができるようにどのようにお互いが認め合って、支え合って学ぶのかを事前に共通理解をする

#### 3. 調査研究

- (1) 先進実践の視察及び調査 (2) 県内生涯学習の実施状況の調査

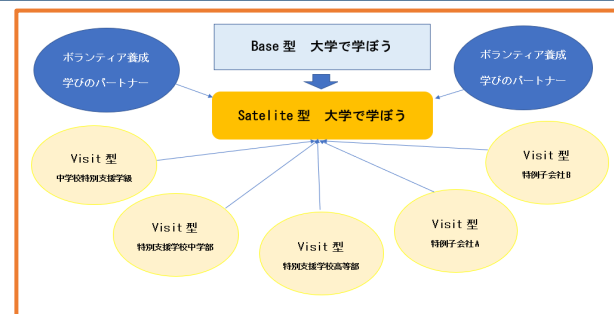


図1. Base型・Visit型・Satelite型大学で学ぼうの関係性

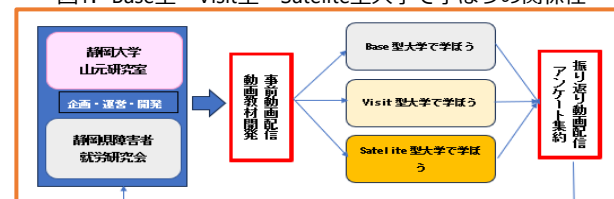


図2. 授業形態及び動画配信の仕組み

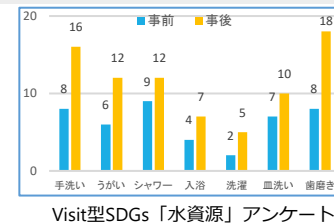
### 事業終了後の目指す方向性

- (1)「学校外」で実施される生涯学習への関心の高まりと参加経験の拡大により「生涯学習」への関心が高まる
- (2)多様な学び方の開発 (主体的な学習者になるために多様な学び方を学ぶ)  
オンデマンドを活用した学びと協働的学びの経験の拡大と熟達化することで、結果的に自分にあった学び方を見つけたり、様々な生涯学習の場に参画できる
- (3)互恵関係的な学びを可能にする学びのパートナー (ボランティア) の拡大

### その他

静岡県障害者就労研究会HPで「大学で学ぼう」の実績をアップしています。

静岡県障害者就労研究会HPより、事前動画を配信し、参加者が自分の意見を持ちながら、対面型授業でディスカッションしながら学びを深めます！



Visit型SDGs「水資源」アンケート